生協の現況 2019.10.1現在

組合員	31,865人
出資金	15億3,884万円
一人平均	48,292円

2019年度増加

組合員	479人
出資金	5,601万円

東京ほくと

一人は万人のために万人は一人のために

２０１９年
（11月号）
第483号

東京ほくと医療生活協同組合
住所　114-0003　北区豊島3-4-15
発行　「東京ほくと」編集委員会
☎03（3913）9100
Home Page：http://www.t-hokuto.coop/

「食べること」を支援

再加熱カートが新しくなりました

季節感をとり入れ　献立に変化

機能的配膳車の再加熱カート

王子生協病院の入院食は、東京民医連の給食の共同化として設立されたセントラルキッチンリップルから、毎日届きます。

厨房では食事をチルド（注）の状態で盛り付け、再加熱カートにセットしてカート内で直接加熱し、料理の適温を維持した状態で患者さんに召し上がっていただくという衛生的で安全なシステムを採用しています。再加熱カートは冷蔵と加熱を1台でこなす機能的配膳車です。今年9月再加熱カート7台を新品に入れ替えていただきました。

今年から導入した再加熱カート

命と健康を支える

私たち栄養課の職員（管理栄養士・栄養士・調理師）は「食べること」を支援する専門職として、臨床の場で、生活の場で、命と健康を支える役割があります。

臨床の場では咀嚼（そしゃく）や飲み込む力が弱くなった患者さんに対し、言語聴覚士と共同して嚥下（えんげ）調整食を提供しています。調理の工夫として、お粥の粒をなくしてペースト状になめらかに仕上げ、べたつきを抑えています。おかずもなめらかなペーストにしたり、形があっても舌や歯茎で押しつぶしが容易な食形態に仕上げています。液体でむせるなどの症状のある方にはとろみをつけるなど、細やかな工夫をおこなっています。

衛生・安全を重視しつつ、楽しい食事の提供に日々努める栄養課職員

病棟ごとに工夫

また、回復期リハビリ病棟では栄養障害を早期に発見し、機能改善に適した栄養をしっかり摂って頂くようなメニューをお出しします。

一般病棟や回復期病棟では栄養サポートチーム（医師・看護師・リハビリ技師・管理栄養士）により栄養改善に取組んでいます。

緩和ケア病棟では少しでも食事を楽しんでいただけるよう麺類やいも煮をお出ししたり、デザートなどで工夫を凝らしています。

患者さんに評価され、喜んでいただける食事を提供する上では、献立の内容が大きな要素になります。セントラルキッチンリップルでは毎月、季節感を取り入れた行事食やお楽しみ料理で献立に変化をつけています。この10月より全面的な献立のリニューアルがおこなわれ、毎日、工夫を凝らした新メニューが届いています。

彩り豊かな行事食

治療効果高める食事提供めざす

私たちは、より安全でおいしく、治療効果を高める食事の提供を目指しています。

今後も、積極的にベッドサイドに伺い、患者さんのご意見をお聞きして献立改善につなげます。給食の共同事業としてリップルとの連携を深めて食事の質向上により、満足度（おいしい）が高まるよう努力していきたいと思います。

（栄養課課長・平嶋順子）

（注）チルドとは、食べ物を凍結寸前の温度まで冷却・保存した状態。

王子生協病院は「無料低額診療」事業を行っています
医療費でお困りの方はご相談ください　☎3912―2201

注射器

晩夏から初秋にかけて、東日本を中心に日本列島を襲った2つの台風は、今まで経験したことのないものでした▼想像を絶する暴風は、大木や電柱をなぎ倒し、屋根を吹き飛ばしました。被害は千葉県をはじめ神奈川、埼玉、栃木など関東一円に及び、電気、水道、交通網ほかライフラインに壊滅的な打撃を与えました▼続いて襲ってきた台風19号は、暴風とともに豪雨をともない、関東甲信越から南東北までの河川が、支流を含めて大氾濫をひき起こしました。行方不明だと報じられる人たちを含めると90人を越えるであろう人たちが亡くなられました。ここ数年の日本を襲うこうした大型台風を「スーパー台風」と呼び、来年以降もこのスーパー台風は日本列島を襲う可能性が高いそうです▼東京は世田谷区で多摩川の堤防一部決壊による浸水で被害がありましたが、ここ北区は幸いにも無事でした。隣りの足立区は一時避難勧告が出ましたが、難をのがれました。これは奇跡というべきかもしれません▼スーパー台風がなぜおきるのか。その原因は地球の温暖化によって海水温が高くなり、南太平洋で発生する熱帯低気圧が強くなり、熱い海流に乗って勢いを増して西北に押し寄せるのだそうです。そこに私たちの国、日本はあるのです▼トランプ大統領も安倍首相も、温暖化対策には背を向けていますが、私たち国民はそれを許したままでいいのでしょうか。（小）

理事会だより 10月19日

あらゆる防災についての準備対応の必要性を認識

理事長あいさつ　今泉　貴雄

この間、ラグビーのワールドカップで日本の活躍もあり、連日盛り上がっております。またノーベル化学賞で日本人の受賞もあるなど、明るい話題もありました。

一方では先週の週末、台風19号が関東から東北を直撃しました。

前回の理事会では千葉県に多大な被害を及ぼした15号の後で、台風等に備えていくことが必要との話をしましたが2ヵ月続けてのことになりました。先月千葉県で被災された方、及び今回の台風で被害に遭われた方々に対して、改めて一日でも早い復興がされるよう祈るばかりです。

病院、法人では幸いに被害はなく過ぎましたことを報告します。地球温暖化で今後このような大型で強い台風が増えるとの予想もされております。改めて今回を教訓として対応を検討していきます。

緊張の一日

過去の記憶では台風がくることで交通機関の乱れが生じ、そのためにスタッフの中には通勤が困難になる人がいました。しかし、前回からJRが計画運休という方針をだしました。これまでは電車、バスなどの身近な交通機関は動いて当然、との思いがあり、事前に交通機関を止めることがあろうとは想定しておりませんでした。

スタッフの中には遠方から通勤している人もいるため、計画運休により出勤できない、また逆に帰宅できない、との問題に直面することとなりました。

今回JRがお昼頃から運休予定と報道されたことで、それに合わせて当日の勤務者には、あらかじめ早めに出勤して病院内で待機したり、帰宅時間によっては病院内に宿泊するなどの対応を行いました。また各事業所での診療は休診、ないしは終業時間を早めるなどで、大きな混乱はありませんでした。

しかし、ご存じのように地域では避難勧告がだされたところもあり、実際に荒川をはじめ水位が高くなり洪水警報もだされるなど、その日は緊張した一日でありました。

台風時の対応の教訓

地域の方からは、主には在宅療養されている患者、そのご家族からも病院に避難はできるのか?との問い合わせもありました。

これまで防災の準備については地震などのいつかは起こる、しかし、いつ起きるかわからない災害に対しての対応で、主には発災後の対応準備を想定しておりました。しかし、台風についても同じように準備を行うことの重要性を再認識した次第です。このことを教訓にして病院としても準備をしていくこととしております。

災害時の役割

王子生協病院は災害に際して、災害拠点連携病院としての役割があり、また区と連携して緊急医療救護所の設営に協力することとなっております。

《理事会議事録要旨》

報告事項

①９月組織活動報告・加入73人、脱退65人、出資金増資545万円、増資者828人、新班１班、班会開催100回、２項組合員なし。せ～の行動で79人の仲間増やし。健康チャレンジ目標1000人めざし現在278人登録。次年度に向けて健康チャレンジ共同化プロジェクトを東京都連で開催。11／20東京高齢者のつどい参加要請、11／29社保学校で橋場診療所見学予定。３区の社会福祉協議会との懇談を企画する。小豆沢病院見学８人参加。機関紙11月号１面は王子生協病院入院食提供で栄養課の取組紹介。②９月決算報告。③王子生協病院、診療所群、訪問看護ステーション、福祉事業部報告。④生協強化月間と年末増資について。⑤第３次中期計画策定委員会報告。⑥台風支援募金依頼。⑦医福連、全日本民医連理事会報告。

議決事項

無料低額診療事業運用規則の一部改訂を確認した。

10月～12月 生協強化月間

仲間増やし・増資にご協力お願いします

◎王子生協病院は、個室も含め全室差額ベッド料はいただいておりません。

社会保障の充実求めてあきらめずとりくもう

憲法・いのち・社会保障まもる国民集会

10月17日に日比谷野外音楽堂で「憲法・いのち・社会保障まもる10・17国民集会」が開催され、2500人が集まりました。あいにくの小雨の中でしたが、東京ほくと医療生協から組合員12人と職員12人の合計24人が参加しました。

全国から2500人が「いのちをまもろう！」

「いつでも、どこでも、必要な時に、安全・安心の医療・介護が受けられる」ことは国民の最も切実な願いであり、憲法で保障された権利です。閣議決定された基本方針（骨太方針）は、社会保障切り捨てと自己責任の押し付け、際限ない給付減と負担増、医療費とベッドの削減により「入院患者追い出し」「入院難民」が増大すると、集会でも発言がありました。

社会福祉施設経営者同友会会長から、「福祉現場が金もうけの対象になっている」と報告がありました。立川相互病院副看護部長は、国民健康保険料や医療の窓口負担が重いことで受診が遅れて死亡する事例を報告しました。小説家でタレントの室井佑月さんが「あきらめないことが大事。正しいのはこっち」と参加者にエールを送り、大きな拍手を受けました。

「米国や大企業、富裕層を優遇する一方で社会保障解体を進める安倍政権の退陣を」「社会保障と憲法を守り生かせ」と霞が関、厚生労働省に向けてシュプレヒコールを行いました。

集会後は、「社会保障費増やせ」「憲法25条守れ」と銀座をパレードしました。今後も医療介護改悪に反対し、より良い社会をめざす運動を進めましょう。

（組織部長・佐藤　章）

医療と介護の現場

いつもどおり
自分らしい寄り添い

8月から緩和ケア病棟の担当になりました。緩和ケア病棟では悪性腫瘍（癌）による患者さんが「自分らしく」穏やかな毎日を過ごすために、身体や心の辛さを和らげることを目指しています。院内多職種や在宅チームとの連携で全人的な緩和ケアを提供しています。

私が医療ソーシャルワーカー新人の頃に初めて看取りの支援を行ったAさんを紹介します。以前Aさんの母親に関わったことから、胃癌末期で入院したAさんを私が担当しました。癌の方を支援するのが初めてで知識が不十分で、Aさんが元気だった様子と現状の差に気持ちが追い付かず悩みました。先輩から「いつもどおりで良いのよ。Aさんを思いやり、あなたらしく寄り添って支援をしてみたら」と助言をいただきました。この時、私が病気に対しての偏見を持っていたと気づかされ、その後は知識を深めながらAさんに向き合えるようになりました。

Aさんから「怖いよ、寂しい」と打ち明けられ、私が出来たのは面談を重ねることでした。年末休暇に入る前に「また来年ね、良いお年を」と伝え、「いつもありがとね」と交わしたのが最期の言葉です。Aさんは院内スタッフに見守られる中、年明けに看取られました。

支援で悩んだ時にはAさんを思い出します。「ありがとね」の言葉に「成長させてくれてありがとう」の気持ちを返しながらこれからも支援を行っていきたいと思います。

（王子生協病院医療ソーシャルワーカー・瀬尾真奈美）

〈組合員の資格および脱退・減資について〉

※東京都に住所または勤務地を有する方は組合員となれます（定款第６条）。転居やお亡くなりになられた場合はご連絡ください。

※当医療生協からの脱退・減資につきましては、定款第10条（自由脱退）および第17条（出資口数の減少）によって、事業年度末の90日前（12月31日）までにご連絡をいただき、年度末（３月31日）に処理させていただくことが基本となっております。お困りの事があればお気軽にご相談ください。

東京ほくと医療生活協同組合　本部組織部　ＴＥＬ：03―3913―9100

運動サポーター中心に健康づくりの輪広げる

理事会・健康づくり委員会が養成講座開催

楽しく気軽に交流しながら

2017年度、健康づくり委員会は、初めて「運動サポーター養成講座」を開催し、14人が卒業。支部や班で体操をリードするにとどまらず、荒川ラインウォークの整理体操や転ばん塾での援助、健康体操「すこやか」の受付当番を行なってきました。

昨年度はその14人に「タオル体操」のフォローアップ研修を行ないましたが、サポーターの数をもっと増やそうということで、今年9月に、第2回目の「サポーター養成講座」を開催しました。自らの健康を向上させるだけでなく、周りの方にも運動の楽しさを普及しようと、新たに9人が受講しています。

毎週1回、理学療法士が90分の講習を4回行ない、安全対策などの講義と、2人1組で相手にストレッチや筋トレを指導する実演をします。みな、人に教えるとなると、より詳しく正確に知りたいので、理学療法士に毎回質問攻めです。

スクエアステップの講習

リハビリ技師によるストレッチ体操

10月には、スクエアステップ体験会が、北診・王子生協・足立・荒川の4ヵ所で催され、運動サポーターは必ず1回は参加してもらうことになっています。16日には、まず北診療所で第1回目が開かれ、組合員20人が体験しました。4×10のマス目のマットを、パターンの指示どおりに足を運ぶので、頭も使います。足がもつれたり、手もつけたら阿波踊りのようになったり、笑いの絶えない体験会となりました。今後、ほくとの中でスクエアステップ体験会などにとりくむときに、サポーターさんに一役買ってもらいます。

10月29日に「運動サポーター卒業式」を行ない、9人のサポーターが誕生します。自分の班や支部だけでなく、依頼があれば他の支部にも出張して、体操のリーダーをしてくれる予定です。ストレッチやタオル体操を班会や支部の集まりでやってみたいご用命は、組織部までお申し込みください。楽しく気軽に交流して、健康づくりの輪を広げていきましょう。

（組織部・池田雅子）

手洗いとうがいで感染予防

風邪のウイルスはどうやって感染するでしょうか？主に飛沫（ひまつ）感染と接触感染があります。普通の風邪のウイルスは接触感染が多いといわれており、インフルエンザウイルスなどは、飛沫感染です。感染を防ぐ基本として、うがい手洗いを毎日の習慣にしましょう。

うがいのススメ

飛沫感染とは、くしゃみやせきなど空中に飛び散ったウイルスを吸い込んで感染することで脅威的な伝染をします。感染力が強いインフルエンザイウルスは飛沫感染です。身近に風邪をひいている人がいなくても、電車の中など人がたくさんいる場所では油断禁物です。しかし、ウイルスを吸い込んでしまうと症状が出るというわけではありません。ウイルスが口腔内に入り込んでしまう前に洗い流すことが重要です。

外出から帰った時は、まずうがいをし、のどの粘膜についたウイルスを洗い流しましょう。

正しいうがいの仕方

うがいが風邪予防になることは知っていても、意外と知らないのが正しいうがいの仕方です。

1・水を口に含み、口を閉じて強くグチュグチュしながら洗い流す（2～3回）。

2・もう一度水を口に含み、上を向いてのどの奥でガラガラうがい。

3・10～15秒ほどして水がぬるく感じたら吐き出す。

＊ガラガラうがいは最低でも3回は行いましょう。

＊コップをこまめに洗うことも忘れずに。

手洗いのススメ（接触感染を防ぐ）

人は何気なくさまざまなものを触った手で自分の顔などにも触れます。風邪をひいている人が、自分の鼻などを触った手で、つり革や手すり、エレベーターのボタンや電話などに触れるとウイルスが付着します。健康な人が、それらに触れた手で自分の顔などに触れると手に付着したウイルスが鼻や目、口などの粘膜から感染するのです。感染を防ぐにはこまめに手洗いをして、手に付着したウイルスを洗い落すことが大切です。

（王子生協病院院内感染対策責任者・平井敦子）

〈正しい手洗いの仕方〉

支部主催「すこしお料理教室」

楽しくおいしく学習

足立西部第2支部健康づくり委員会

「料理教室の企画はいいのだけど遠くまで行けない」「近くでやってほしい」との意見があり、思いきって支部主催の「すこしお料理教室」を10月5日に開きました。会場は、組合員さんが多く居住している団地の集会室を利用しました。料理をつくる人、組合員同士交流を深めている人、それぞれにワイワイにぎやかな中、3品つくりました。

やはり「うすい」と感じる方もいましたが、「生活のなかで気をつけたい」「交流できてよかった」と楽しくなごやかな料理教室でした。「次回の企画を」と期待の声もありました。塩分計でスープの塩分を測ると0・5gでした。

男性の参加もあり、初めてにしては良かったかなとも思います。行き届かなかったところもありますが反省を次の企画につなげたいと思います。

メニューは、ゴボウと梅干の炊き込みご飯・じゃがいもの中華サラダ・鶏肉のサムゲタン風スープ・きゅうりの梅酢和えで、comcomに掲載されていたレシピを利用しました。

（健康づくり委員・田沢きよみ）

当日のメニュー

「すこしお」について健康づくり委員が説明

健康チャレンジ2019に取り組んでいますか？

1月21日㈫に王子生協病院会議室で報告集会を開催します

診療所の存在をアピール

診療所独自の企画や地域のまつりで、医師・職員が地域の方々と交流しながら生協活動を紹介しました。

鹿浜診療所
ふれあいまつり

10月19日、鹿浜診療所ふれあいまつりを開催しました。

数日前に大雨の予報となり、お客さんが来てくれるのか心配しながら、当日を迎えました。雨が降るなか、テントを設営し、大きなブルーシートで手作り感満載の屋根を作った数分後、なんと雨はやみました！

恒例の豚汁やおにぎり、フランクフルト、駄菓子釣り、唐揚げ、昨年復活した「だんご」も大人気でした。東京土建鹿浜分会の包丁研ぎや無料抽選会も大好評です。今年は通所リハビリ利用者の皆さんもまつりに参加し、昼食や抽選会を楽しんでくださいました。作製した雑貨や小物もすべて売り切れました。

今年は、平山陽子所長によるコーヒーが登場。お休み処にした『さくらそう』の中で販売していましたが、会場にもたくさんコーヒーの出前を行いました。

鹿浜診療所ふれあいまつり

天気の不安は吹き飛んで、200人の人出となり、地元商店会の八百屋さん、肉屋さん、お惣菜屋さん、町会や団地自治会の協力もいただき、参加者も要員も笑顔のおまつりとなりました。終了後には、今年も土建さんを交えて要員のみなさんと職員で豚汁を味わいました。（鹿浜診療所事務長・本間さやか）

荒川生協診療所
汐入診療所
荒川区民まつり

荒川生協診療所、汐入診療所をはじめとする荒川地域事業所は、毎年秋に行われる荒川区民まつりに参加しています。

区民まつりは、地域の民主団体が協力して開催していて、区役所前公園を貸切にして様々な出店が並びます。今年は9月29日（日）に行われました。天気も良く気温は27・7度まで上がり、会場には前年より多くの方が足を運んだようです。

荒川生協事業所は、チョコレートやわかめ等の販売、バザー、健康チェックを出店しました。組合員さんの声かけ効果は絶大で、チョコ80個とわかめ80個を完売。バザーは若手を中心とした職員の活躍で想定以上の売上げを出せました。

荒川区民まつり

骨密度と血管年齢には30人以上の方が立ち寄ってくれました。近所にお住まいの外国人ご家族が、携帯タブレットの翻訳機を使いながら、楽しく健康チェックをする一コマもありました。

区民まつりは、毎年地域に生協活動をアピールできる場になっています。今後も、催し物の工夫など、組合員と職員が一緒に知恵を出し合いながら参加していきたいと思います。

（荒川生協診療所事務長・佐藤直史）

地域の団体の催しに参加

健康チェックでアピール

「健康づくり」「ささえあい活動」は地域の団体とつながることが大切です。お祭りや企画をとおして今年も地域の団体の催しに参加しました。

王子生協病院
豊島5丁目団地わくわくまつり

9月28日、「わくわくまつり」に参加しました。組合員さんが健康チェック、そのテントの前で漆畑宗介医師とともに屋台でコーヒーを販売、例年以上の売れ行きでした。

健康チェックは、若い方も普段気になる症状を気軽に相談していました。乳がんチェックの模型も好評で、小学生女子グループが賑やかに体験していました。今年は、参加団体の皆さんとの当番制で「よろず相談窓口」を開設しました。「腰が痛い」という中国籍の方や「緩和ケア病棟について聞きたい」「もの忘れ外来にかかりたい」など、6人が相談に来られました。（医学生担当管理・灰野真紀）

豊島５丁目団地わくわくまつり

赤羽東支部
赤羽文化センターまつり

10月19・20日で約200人が健康チェックに参加しました。今年は赤羽西・赤羽東・浮間第1・王五団地の各支部で協力して、順調にチェックできました。

元職員の布谷礼子看護師による健康相談コーナーも設けました。「食事、水分摂取、睡眠など日常生活のアドバイスを専門家に聞けて、来て良かったわ」との感想が聞かれました。日頃、書道、絵画、手工芸、歌やダンスなど楽しく教えたり習ったりしているだけあって、ご高齢でも元気！元気！血圧が普段より高めに出る方がほとんどでした。また、80才を超える方がとても多かったのが印象的でした。（赤羽東支部支部長・小林京子）

赤羽文化センターまつり

宮城小台支部
あだちNPOフェスティバル

10月19日、「あだちNPOフェスティバル2019」が行われました。足立区を拠点とするNPOと企業、計86団体が参加しました。東京ほくと医療生協は、東京都生協連の足立区まちづくりの取り組みとして、宮城小台支部の運営委員3人と参加しました。

社会福祉協議会など認知度の高い団体から知名度の低いものまで、多種多様な団体がたくさん参加していました。東京都生協連足立区まちづくりからは、コープみらい、パルシステム、東都生協が食品販売、私たちは東京ふれあい生協と協同で83人の健康チェックを行いました。高齢者だけでなく、若いご夫婦や子連れの方など多くの方が健康チェックに興味を示され、順番待ちの列が出来るほどでした。幅広い年齢で健康への関心が高いことが分かります。（組織部・山崎建）

あだちＮＰＯフェスティバル

病院・診療所・事業所だより

社保平和学校
橋場診療所と地域見学

無料低額診療と地域組合員の運動を学ぶ

・11月29日（金）都電荒川線王子駅13時集合
・定員20人まで（定員になり次第締め切ります）
・連絡先・組織部　3913―9100

街づくり

支部ニュースから

地域の話題満載の手作りの支部ニュースが毎月・隔月発行されています。そこからちょっと拝借して紹介します。

「東尾久支部ニュース」

・8月21日、王子駅前で「消費税10％への増税反対」に取り組み署名への協力を訴えました。

世界も日本も景気が悪くなると言われている中での増税は私達の暮らしに深刻な影響を与えることになります。「増税反対」の声を上げ続けることが必要です。

・10月はじめまでカラオケ「ビート」店が改装中のため、8月のビート班会は17日に町屋「ビッグエコー」で開催しました。4人の参加で、懐かしい歌、民謡、反戦歌などを一人7～8曲しっかり歌いました。（支部長・富田治男）

ビート班会のカラオケ

「堀船支部ニュース」

川村邦子さん

海に浮かぶプラスチックごみが太陽光や波にさらされ、温室効果ガスが出ている。科学者から2030年までにこれを半減させる必要があると人類への警告が出されている。大量のマイクロプラスチックは海に流出され、2050年にはこのごみは魚より上回ると予測されている。それを食べた魚貝を人間が食べ、肺等に溜まり、重篤な肺疾患を引き起こす事態となる。

過度な便利さや大量生産・大量消費を追求する生活を考え直し、環境破壊から脱却することは地球に住むものとして早急の課題です。自分のまわりを見まわし、皆で考え直してみませんか？

（支部運営委員・川村邦子）

「参加してよかった」

東京ほくとから30人が参加

福島開催の日本高齢者大会

日本高齢者大会参加者の報告集会（10月７日）

参加報告集会で拾った声

9月25～27日に福島で日本高齢者大会が開かれ、延べ3800人、東京ほくと（30人）を含む38人が北区から参加しました。その参加報告集会を10月7日に開催し、28人が参加しました。感想文集を読みながら、福島の自然や食、それと相容れない原発が生んだ被害等について、各支部からの参加者が思いを語りました。

会場で耳にした「なんでやねん」という言葉が印象的だったという王子5丁目団地支部の松茂良昭代さんは、介護や年金の制度に「なんでやねん」と怒りをぶつけていると紹介。同支部の若林ふさ子さんは、豊かな環境に触れて「福島を日本人として守っていかなくては」と訴えました。

組合員活動を行うことにモヤッと感があったが、高齢者大会に参加して払拭された、と述べたのは、豊島3丁目支部の吉川とよ子さん。被爆牛270頭を飼育する「希望の牧場」牧場主の吉沢正巳さんから「オリンピックの名のもとで、福島が見捨てられている」と聞き、被災地に残された命をつなぐ姿から「命の大切さを感じた」と話します。

北足立第1支部の正木勝代さんは、分科会も全て原発関連のものに参加。「以前原水禁に参加してわかった気分になっていたが、安斎育郎先生（立命館大学名誉教授）の講演で再認識させられた」と言います。箱物を建てても住む人がいないという現状を知り、お金の使い方を考えるべきではと提言しました。

浮間第1支部の佐藤信喜さんは福島県相馬郡出身。千年以上の歴史を誇る相馬野馬追で有名な地域は、原発事故により一変。大きく掲げられていた標語「原子力明るい未来のエネルギー」は事故により全国に知られることになりましたが、「今では『原子力・事故後は辛い後始末』ですよ」と話します。妻の節子さんも「草が生い茂り、ソーラーパネルが並んでいた。四季折々楽しめていた風景を思うだけで痛ましい。原発は全てを殺してしまう」と静かに話しました。

このほかにも体験を自らに引き寄せた感想が続き、報告者のみなさんの笑顔が印象的で、非常に実りある大会であったのだと感じました。東京からの参加者30人のうち、1割が東京ほくとからの参加者でした。都内でも高齢者運動が活発な地域、と注目を浴びています。

（組織部・下川麻衣）

消費税、医療機関ではどう変わる？

仕入れにかかる消費税は医療機関の負担に

10月から消費税が8％から10％に増税されました。

そこで、医療機関ではどのような影響があるのか紹介します。

まずは診療報酬（注1）に関わる部分ですが、医療機関の仕入れに関わる消費税負担が増加することから基本診療料を中心に45項目で点数（注2）の上乗せがされました。一番身近なものでいうと初診料が6点、再診料が1点上乗せになっています。これは自己負担割合が3割の方で初診だと10～20円、再診では0～10円（注3）の負担増です。

また、入院料も変更されましたが、入院している病棟機能によって上乗せされた点数が違うのと、限度額認定証をお持ちの方は上限額があるため影響は個人によって違います。

介護報酬についても同様に単位数の改定があり、要介護度ごとの支給限度額とサービス提供単位数が変わっているため影響は個人によって違ってきます。

その他、診療報酬以外の自費になるもの、各種診断書、予防接種（助成の無いもの）などは10％に変更されていますが、東京ほくとの基本料金に変更はありません。

健診料金は、東京ほくとのどの事業所で実施しても統一料金です。今年度（2019年度）は、4月1日より料金の改定をさせていただきましたので、10月からの消費税改定に伴う料金引き上げは行わず、据え置き価格で行っています。

一方、病院・診療所などの事業所としての消費税の納税額は、売り上げにかかる消費税から仕入れにかかる消費税を差し引いて（控除して）算出します。医療機関の場合、仕入れにかかる消費税はほぼ非課税の診療報酬に対応するものとみなされます。納税額からわずかしか控除できず、残った多額の仕入れ消費税は結果的に医療機関の費用となります。

昨年度東京ほくとの費用計上した消費税は約8千万円。これに消費税10％をあてはめると概算で年間約1億円、つまり約2千万円の費用増が見込まれます。

お尋ねになりたいことがありましたら、お気軽に窓口でお声かけください。

（医事課課長・吉野浩司）

病院の会計窓口

（注1・2）医療保険から医療機関に支払われる治療費のこと。1点につき医療費は10円で、そのうち負担割合に応じた額が自己負担額となる。すべての医療行為について点数が決められている。さらに、リハビリは月160分まで、ガンの検査は1回だけ、など医療の内容も規定。診療報酬は、医療機関の収入というだけでなく、患者さんが保険で受ける医療と密接にかかわっている。

（注3）窓口会計では診療の合計点数と負担割合で計算し、一桁目を四捨五入したものが自己負担になるため、金額に幅がある。

病院・診療所・事業所だより

街づくり

王子生協病院

新しい方も増え、ボランティアの幅が広がる

「夏！体験ボランティア2019」

7月・8月、北区NPO・ボランティアぷらざが毎年行っている「夏の体験ボランティア」として7人受け入れました。ボランティア委員会でマニュアル等の整備をして準備をしました。

申し込みは、高校生から社会人まで。学校の先生にボランティア体験を勧められた子、将来医療系を目指す学生もいました。「夏休み子ども体験」のお手伝いの傍ら先輩と話すなど、病院を知ってもらう機会にもなりました。社会人の方たちは傾聴の講座を受けており、「3階病棟土曜日カフェ」は安心してお任せ出来ました。体験期間が終了しても、継続参加してくれる方も出てきました。受入れは大変でしたが、新しい方も増え、ボランティアの幅も広がり、取り組んで良かったです。

（事務次長・伊藤里美）

ひまわりの家

２度も台風に阻（はば）まれた今年の夏祭り

9月8日、今年も東一太鼓さんをお呼びして、美味しい冷やしぜんざいを滝野川支部の方にお願いし、予定していた夏祭りでしたが、台風15号の接近にて中止にせざるをえませんでした。

10月13日に再度秋祭りと名前を変えて準備していたところ、またも台風19号が直撃とのことで再度中止となり、今後は日程が取れないので、今年は直に迫力ある太鼓を聴くことは出来ませんでした。

2度も予定した日にちに台風が来るなんて・・・。祭りに合わせて、盆踊りの練習を各階でやりました。自然の力にはかなわないことを身にしみて感じつつ、災害にあわれた方も沢山いる中で、無事に過ごせていることをありがたく、どこかで練習の成果を披露したいと思います。

（施設長・古河直美）

盆踊りの練習に励む

ズームアップ人びと

風貌と民主的な活動をしていることから、かつて新宿の落合で活動をしていたころには「新宿のレーニン」と呼ばれていました。今は「王子のレーニン」と呼ぶ人もいます。

中学・高校と柔道で活躍、大学はスポーツ推薦を希望していましたが、最後の試合で腰を痛め断念。1年浪人して歴史の勉強をしたいと明治大学史学科に入学しました。4人の仲間たちと共同生活をしながら、民主的な活動や学習塾を開き子どもたちに勉強を教えていました。そして生活のためのアルバイトが優先になり、学費を8年間納めたけれど大学にはほとんど行かず、除籍処分になったそうです。

満面の笑みが人を和ませる力に

王子3丁目　渡辺泰庸（やすのぶ）さん（78歳）

お仕事は、中央区新川の酒問屋で30年ほど勤め、その後は少年期を過ごした都営尾長橋住宅（王子3丁目）に戻り、現在は自治会長を15年、王子町会自治会連合会（11団体）で奔走されています。王子支部運営委員と「東京ほくと」の配付にもご協力をいただいています。

支部では、3年前に歴史を勉強する「ザ・ヒストリー班」を作り、講師をお願いしています。「歴史を知る上で①流れから、②上から見るのか下から見るのか（階級別）、③地方から中央から、の3つの観点から話しています」が、難しいと思っても何か1つだけでも記憶に残ってくれればいい」と渡辺さんは話します。第1回の「真田丸」をはじめ「第二次世界大戦」「北方領土」などと9月には「アイヌの文化」を、毎回テーマを決めて学習し十数回になります。

王子3丁目都営住宅は、戦後引き揚げ者住宅から二度の建て替えで3年前に新しくなりました。引越の時の不要品のほか近隣や知人から集まった品を集会所で「何でも100円」でバザーを行うなど頼りにされています。

趣味は、旅行と映画鑑賞に雑文を書くこと。高校時代に自転車で仙台まで行ったことがご自慢です。ご子息が栃木医療生協の宇都宮協立診療所で小児科医をなさっていることを最後に伺いました。

（聞き手・川井久子）

絵手紙ひろば

足立区江北　高井フミ子

なでしこ班

子どもの頃、そこら中にあった無花果（いちじく）。今は果物店、八百屋さんで高値で売られていてビックリ。あのツブツブの感触がたまらなくて買って食べてしまいます。

虹の箱

理事会事業所利用委員会

小豆沢病院見学と友の会との交流

10月8日、事業所利用委員会メンバー8人が、小豆沢病院見学と友の会の皆さんとの懇談を行いました。

「ほほえみポスト」（意見・要望・期待などを書いて入れる投書箱）の報告が各階に掲示してあり、お褒めの言葉をテレビ画面にテロップで流していました。

小豆沢病院外来待合室で交流

衝突防止のかわいいミラーが角ごとに付いていました。また、病棟内の掲示がカラフルに工夫されていて、絵画が飾ってあり、定期的に交換しているようです。そして、外来待合が広くてよいという感想が出されました。

1994年に「ほほえみポスト」を設置、利用委員会を発足させ、①月1回ほほえみポストの開封、②3ヵ月に1回、回答の作成と公開、③病院内巡視と改善、④ほほえみ賞（個人名で評価された職員）の表彰、⑤ハッキリ受診メモ（かかりやすさの応援）の普及などに取り組んでいます。

東京ほくとのボランティア活動や利用委員の多彩な活動、また自分たちの病院・診療所という意識の強さ等に感動されていました。利用委員会の交流も初めてで、感謝されました。

（理事・松本和彦）

なんでも相談会だより

毎月第4火曜、午後5時
王子駅前三角公園で実施

ひろがる女性の孤立・貧困

なんでも相談会に訪れる相談傾向の一つに、女性の孤立・貧困の相談が最近増えてきています。

特徴として、体調を悪くしても仕事を続けている方、国保料が払えず保険証が資格証になった方、妄想など精神疾患を患っている方、家庭内暴力など、世代も悩みも様々ですが、相談に来る彼女らの身の回りには、相談相手がいない方がほとんどです。

月10万程度の収入を家賃、水光熱費と切り詰めた食事代など生活費に使うと、国保料が払えない。結果、資格証になり婦人科に通うことができなくなったという30代女性。79歳まで清掃業で働き月5万円の収入があったが、現在は体調を崩し働けなくなったと将来への不安を語る80代女性。今はまだ元気だが、今後が心配という80代女性。

なんでも相談会で相談する女性

最近、真夏も真冬もアスファルトの上で一日働く、過酷な建設や道路工事現場のガードマンに、高齢の女性労働者が目立ちます。年金では暮らせず日当を稼ぐために働いているのではないかと推測されます。

（組織部・森松伸治）

◆どこの病院・医院の処方せんでもお受けいたします◆
いつでも気軽に相談できるあなたのまちの薬局です。

あすか薬局　北区豊島3―5―6　☎3912―7478	かえで薬局　足立区江北1―26―8　☎3896―6620
しんでん薬局　足立区新田2―12―7　☎3911―2274	わかくさ薬局　足立区入谷3―1―4　☎3854―3054
ひまわり薬局　北区東十条2―6―5　☎3912―0293	あらかわ虹薬局　荒川区荒川4―54―1　☎3803―1005
ひまわり薬局浮間店　北区浮間3―22―5　☎3558―3081	堀切虹薬局　葛飾区堀切7―12―1　☎3604―9419

薬剤師募集　詳細は3944―1238東京メディエール

ひとこと通信（敬称略）

王子本町　小山由美子
熊谷へ行ったらラグビーで盛り上がっていました。

豊島　吉川とよ子（69）
琵琶湖の帰りの新幹線の中で、南アフリカのユニホームを着た外国人がたくさん乗っていました。

荒川　並木義男（71）
荒川生協診療所でエコー検査を受けました。異常なしとの事、ひと安心です。

王子　中澤政子（76）
区民検診の数値に一安心。足腰の衰えに水中ウォーキングをしてます。

志茂　吉原宗夫（83）
赤羽東診療所閉院から半年、たまにバスで出掛けるのも楽しみに王子生協病院へ通院をしております。

舎人　松山雪子（75）
いつくるかわからない台風や災害に備えて、非常用持ち出しリュックサックの準備をしようと思います。

王子生協病院入院中　滝澤圭輔（64）
無事退院できたあかつきには、貴組合を支えていけたらなと思っています。

王子　井伊幸子（70）
子ども・孫達に古希を祝ってもらいました。14人、全員集合！次は喜寿と金婚式のお祝いだそうです。

豊島　横山きよ（71）
健診結果は異常なし。健康で過ごしたいです。

志茂　神田節子（68）
娘が孫の七五三の写真を持ってきてくれました。

伊興　岩田春江（68）
ずっと暑いのかと思っていたら、台風19号が過ぎ去り涼しくなってきました。

志茂　阿部栄子（68）
赤羽東支部の運営委員になって一年半が過ぎ、やっと活動の流れがわかってきたところです。

王子　若林ふさ子（68）
久しぶりに皮膚科へ行きました。足の指で歩くのが心配でした。薬と処置で快方へ向かっています。

豊島　中西洋子
はじめてスクエアステップに参加しました。基本とチャレンジステップを一時間、楽しい時間でした。

王子　田代幸子（74）
台風でベランダの植木鉢や物干しざおなどを安全な所に移しました。

伊興　日木章子
シャインマスカットの甘さにビックリ。

◎転居及び氏名変更、お亡くなりになられた場合はご連絡ください。（組織部39１３―９１００）

わたしも配ってます

多彩な健康づくりで若々しく

荒川区荒川　佐藤　康子（75歳）

荒川に在住の笑顔が素敵な元銀行レディーの佐藤さん。両親と二世帯住まいのために実家へもどり22年になります。お母さんが荒川生協の老人会で活躍していたことから「荒川生協にお世話になったのでお役に立てれば」と配付も始めました。

「機関紙東京ほくとは愛読新聞です。いつも隅々まで読んでますよ。季節の記事やレシピを参考にしています。とくに現場のスタッフの皆さんの記事がいいですね」と。銀行勤務の頃に始めたコーラスに今も夢中です。昨年から運営委員になりました。「頼まれると断れないの」と笑顔で答えていました。

（組織部・佐藤　章）

季節のスナップ

神宮外苑の聖徳記念絵画館といちょう並木です。11月中旬から12月初旬の黄葉が最も美しく、多くの人たちが散策に訪れていました。（中澤義則）

医療生協の出番です！あなたの町の班会

一人ぼっちにしないとりくみ

豊五団地支部　ベルデ班

ベルデ班のみなさん

脳トレサロンとして2012年にスタートしました。豊五団地は高齢化で認知症、一人住まいが増えてきました。団地の管理事務所で取り組んでいる「あんしんコール」への登録、声掛けをしている人は40人くらいです。自治会はシニア向けの行事を多くとりくみ、住民同士の見守りを行って孤立死をなくす取り組みをすすめています。

ベルデ班は毎月血圧と体脂肪チェックを行い、間違い探しや音読、1ヵ月間の振り返り、ゆっくり動ける体操を行っています。お茶を飲みながらのおしゃべりも、日々の生活や病院のことなんでも話す場があることで、次回も行ってみようと思うことで、一人ぼっちにしないとりくみの一歩と考えています。自治会のサークルにも登録しました。脳いきいき身体も元気で仲間を増やしていきたいと思っています。

（理事・石川久美子）

支部活動の中心となる班会

神谷堀支部　お食事会班

「大勢で食べるとおいしい」と楽しく食事

始まって以来大切にしていることは、「無理をしない、気軽に集まってみんなで楽しく食事をしよう、大勢で食べるとおいしいね」です。食事は近くのお店で買ったお弁当で、企画は支部委員会で話し合います。

前半はキーボードの伴奏で歌をうたう、食事が定番で、後はその時々で…おしゃべり、脳トレ、軽い体操、折り紙、紙芝居等々。みんな歌が大好きで専用の歌集を作り、レパートリーも増やしています。また、〝お食事会コーラス隊〟と名付けて福祉たすけあいまつりにも参加しています。

新たな企画を立てたり、健康チャレンジや積立増資をしたり、支部運営委員さんが生まれたり、お食事会から神谷堀支部の活動やつながりが広がっています。何よりも笑いが絶えない20人前後の方たちが集まる班会で、「元気でまた！」と次回を楽しみにしています。

（理事・臼坂弘子）

第376回 パズル

防寒着でオシャレに

街中を黄色く染めます

餅やお茶、味噌汁も◎

秋の空高く、小さな雲がかたまって見えます

雲

〈ヒント〉葉が赤や黄色に染まります

〈とき方〉二重ワクの4文字を並べるとある言葉になります。それが答えです。

〈応募方法〉ハガキに答え、住所、氏名、年齢を書いて〒114―0003 北区豊島3―7―1 東京ほくと医療生協「機関紙」編集部まで

東京ほくとホームページからも応募できます。

〈しめきり〉11月25日。正解者の中から5名様に図書券を贈呈します。尚、ハガキの余白に簡単なお便りを書いて頂ければ幸いです。お名前、年齢をご紹介しますので匿名希望の方はその旨明記下さい。〈抽選対象外〉

〈前回の答え〉ラグビー

〈当選者〉（応募20）

吉川とよ子、滝澤圭輔、阿部栄子、並木義男、谷口貞夫

インフルエンザ予防接種のご案内（ほくと内病院・診療所）

●65歳未満で自費料金で接種される場合は、以下の金額になります（金額は全て税込）

組合員　3500円
非組合員　5500円
*当日組合員加入できます

小児2回目
組合員　2000円
非組合員　4000円

●公費対象（65歳以上）の方は区のご案内等をご確認下さい

外来診療体制のご案内

11月１日現在の体制です（詳しくは、病院・診療所にお問い合わせ下さい） 色文字＝女性医師

王子生協病院

北区豊島3-4-15 ☎3912-2201　診療予約専用電話　03－3912－7248　健康診断予約専用電話　03－3912－5181

実施予防接種は、病院・各診療所にお問い合せ下さい

		月		火			水		木		金			土
		午前	午後	午前	午後	夜間	午前	午後	午前	午後	午前	午後	夜間	午前
内科	予約	菅野	池森【腎・高血圧】（２:30～）	今泉 内科医 春田 藤沼 大野【心】	森岡 高島 平山陽 大野【心】	高島	松本 宮島	森岡 神田 渡邊郁	田 森岡 吉田	森岡（１・２・４週）高浪【呼】村山（１・３週）	今泉 岸本 密山（1・3・5週）笹島【循】	密山（1・3・5週）		今泉（1・2・3・5週）藤沼（1・3・5週）
	一般	松本 服部	森岡 青柴	岸本 松本 王	野島 奈良岡	今泉 田	高圓 金山	宮島	近藤	西巻 櫻井	星	森岡 笹島	森岡 笹島	森岡（１・３・５週）小池（１・３・５週）岸本（２・４週）笹島
家庭医診療科		漆畑		打矢				佐野康	佐藤		漆畑（1・2・3・5週）密山（4週）			
小児 乳児 乳健 予防接種		平山美 診察・予防接種	平山美 診察・予防接種	平山美 診察	平山美（アレルギー予約）診察３:30～		名知 診察・予防接種	名知 診察・予防接種	平山美 診察・予防接種	平山美 診察・予防接種	平山美 診察 名知 診察・予防接種	平山美（アレルギー予約）名知 診察・予防接種		越智 診察・予防接種
緩和外来（予約）		○						○		○		○		
もの忘れ外来（予約）			○							○				
整形外科		西野	宮本（予約）	篠田			谷口		整形医師		茂呂			整形医師
皮膚科			上田					井川					秋山（1・3・5週）渡邊（2・4週）	
泌尿器科				石岡							田中			
理学療法 リハビリ		○		○			○		○		○			○
上部内視鏡		○		○			○		○		○			○（３週）
下部内視鏡					○			○				○		
栄養指導								○	○					○
健康診断		会社や個人で行う健康診断は、全て予約制となっております。※「協会けんぽ」の健診指定をとっています。**電話3912-5181**												

〔受付時間〕午前８：45～11：30／午後１：45～４：00／夜間５：15～７：30　【呼】＝呼吸器内科、【循】＝循環器内科

救急・急患の方は随時受け付けています。

生協北診療所

北区東十条2-8-5 ☎3913-5271

		月		火		水		木	金			土
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午前	午後	夜間	午前
内科	予約						新見【神】		伊藤			秋山
	一部予約 一般	大場 餌取（２・４週）	秋山	大場 秋山	大場	秋山	秋山	大場	秋山 大場	秋山	秋山	大場
専門		皮膚科医						整形外科 渡会				
胃内視鏡		餌取（1・3週）										餌取（1・3週）

〔受付時間〕午前８:30～11:30、午後１:00～４:15、夜間４:45～７:00　【神】＝神経内科
〔定期往診〕午後＝月・水・金

透析センター　3912-9334

生協王子歯科

北区豊島3-19-3 ☎3927-9573

	月	火	水	木	金	土
午前	前田 竹田	前田 竹田	前田 竹田	前田 竹田	前田 竹田	前田 竹田（1・2・3・5週）
午後	前田 竹田	前田 竹田	前田 竹田	前田（４週）	前田 竹田	前田 竹田（1・2・3・5週）
夜間			前田 竹田（1・2・4週）		前田（4・5週）	

夜間診療については事前にお問い合わせ下さい

〔予約時間〕午前９:00～12:00　午後１:30～４:30　夜間７:30まで　※週によって担当医が変わります。詳細は受付まで
〔往　　診〕月～金

荒川生協診療所

荒川区荒川4-54-5 ☎3802-2601

	月		火			水		木		金			土
	午前	午後	午前	午後	夜間	午前	午後	午前	午後	午前	午後	夜間	午前
内科	田邊	菅野	泉水（内・小）伊沢	伊沢	伊沢 泉水（内・小）	泉水（内・小）伊沢	伊沢	伊沢	伊沢（2・4週）	田邊 伊沢	伊沢	門松（内・小）伊沢	田邊（1・3・5週）中原（2・4週）古池（2・4週）
専門		水谷〔整形〕（予約）	永井〔整形〕（予約）				桑野〔糖〕（予約）			武井〔整形〕（予約）			古屋〔外科〕（1・3・5週）

〔受付時間〕午前８:30～12:15　午後１:30～４:00　夜間５:00～７:30
〔定期往診〕午後＝月・火・水・木・金

鹿浜診療所

足立区新田2-4-15 ☎3912-8491

	月	火	水	木	金	土
午前	平山 太田 王	櫻井 林	平山 林 王	櫻井 王	太田	午前 平山（1・3・5週）王（内・小）（2・4週）三浦（皮）月2回
午後	太田（２:00～４:00）		平山		神田 王	

〔受付時間〕午前８:45～12:00、午後３:00～６:00
〔定期往診〕午前＝金、午後＝火・水・金

生協浮間診療所

北区浮間3-22-1 ☎3558-8361

	月	火	水	木	金	土
午前	藤沼 山田 野島	太田 井口	藤沼 松本	藤沼 太田 佐藤	藤沼 佐藤	太田（２・４週）佐藤（２・４週）
午後	山田 佐藤	太田 井口	佐藤		藤沼 佐野康	
夜間		大西 佐野康			藤沼 佐藤	

〔受付時間〕午前8:40～12:00、午後1:40～4:15、夜間5:40～7:45
〔定期往診〕午前＝月・火・水・木・金、午後＝月・火・水・金

江北生協診療所

足立区江北2-24-1 ☎3857-6636

	月	火	水	木	金	土
午前	渡邊 谷津〔小〕	渡邊	渡邊	渡邊 中丸〔内・小〕	渡邊	渡邊（1・3・5週）谷津〔小〕
午後		渡邊（２:30～）			渡邊（4:00～6:00）高橋〔内・小〕（2:30～5:00）	

〔受付時間〕午前８:40～12:15、午後２:10～６:00
〔定期訪問診療〕午後＝月・金

汐入診療所

荒川区南千住8-10-3-101 ☎3807-2302

	月	火	水	木	金	土
午前	佐藤	佐藤 中島（整形）2・4週	佐藤	村山（予約）高橋	門松（予約）高橋（小）	佐藤（4週）金山（2週）名知（小）
午後	郭	高橋	中丸	高橋（1・2・4週）	門松	
夜間	佐藤（2・3週）八巻（４週）			高橋（1・2・4週）門松（３週）		

〔受付時間〕午前９:00～12:00、午後２:00～４:30、夜間５:30～７:30
〔定期往診〕午前＝月・木（１・３週）、午後＝月・火・水・木

北足立生協診療所

足立区入谷3-1-5 ☎3896-9971

	月	火	水	木	金	土
午前	渡邊 日向	渡邊 加藤	渡邊 丸山	渡邊（予約）孫 稲葉（予約）	中丸 杉山	渡邊（2・5週）
午後	渡邊（3:00～）		渡邊（1・2・3週）	稲葉	中丸（予約）	
夜間		渡邊 佐野正			杉山 佐野正	

〔受付時間〕午前８:40～12:00、午後１:40～４:15、夜間５:40～７:45
〔定期往診〕午後＝月・火・水・木・金

お知らせ

債券の新規募集は行っていません。
尚、現在ご協力いただいている債券の更新については引き続きご継続をお願いいたします。

歯ブラシ販売「特売日」

11月 8日、13日、18日、28日
12月 4日、9日、18日、28日

組合員の方、組合員証の提示をお願いします。
価格は窓口にお問い合せ下さい

王子生協病院・在宅医療部	北区豊島3-4-15	☎ 3912-6181
王子訪問看護ステーション	北区豊島3-19-3	☎ 5902-7156
十条訪問看護ステーション	北区中十条2-7-13 丸栄ビル一階	☎ 5963-7720
ヘルパーステーションのぞみ	北区豊島3-7-2	☎ 5390-5998
地域ケアセンターわかば	北区豊島3-19-3	☎ 5959-7875
福祉用具サービスハピネス	北区豊島3-7-6	☎ 3911-5110
居宅介護支援事業所ハピネス	北区東十条2-8-5	☎ 5390-6024
認知症対応型共同生活介護 グループホーム ほくとひまわりの家	北区西ヶ原2-24-8ルッシェル飛鳥山1-2階	☎ 5980-6222
荒川生協診療所通所リハビリ（デイケア）	荒川区荒川4-54-5	☎ 3802-2810
あらかわ虹の里デイサービス	荒川区荒川4-54-5	☎ 3802-3541
虹の訪問看護ステーション	荒川区荒川4-54-5	☎ 3803-1179
ヘルパーステーション虹	荒川区荒川4-54-5	☎ 5850-3585
地域ケアセンターはけた	荒川区荒川4-54-5	☎ 3805-8388
都市型軽費老人ホーム ほくと西尾久虹の家	荒川区西尾久8-13-9	☎ 5855-7801
訪問看護ステーションなでしこ	荒川区西尾久8-13-9	☎ 5855-7761
デイサービスセンターなでしこ	荒川区西尾久8-13-9	☎ 5855-7447
訪問看護ステーションたんぽぽ	足立区新田3-26-1-101	☎ 5390-8451
鹿浜診療所通所リハビリ	足立区新田2-4-15	☎ 5902-7179

職員募集

●医師　●歯科医師　●看護師　●保健師
●事務　●医療ソーシャルワーカー　●介護職員
●セラピスト（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）

【詳しくはお問い合わせください】

法人総務部代表電話　03-3927-8864